

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 茂木 健太郎	
教育-11	実施事業	生涯学習センター推進事業	自治事務	主管課 教育総務課
	まち・ひと・しごと		法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

市民団体である鎌倉市生涯学習推進委員会に委託して各種講座・イベントの開催や生涯学習情報誌「鎌倉萌」の発行、生涯学習教養セミナー等の生涯学習事業を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口	177,243人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数	560,247人	事業の対象者数	595,000人	
運営資源状況	決算値(千円)	15,019	当初予算(千円)	15,006	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	15,019	一般財源		
	人員配置数	1.6	人員配置数	1.6	
事業経費運営	人件費(千円)	12,177	人件費(千円)	12,348	
	総事業費(千円)	27,196	総事業費(千円)	27,354	
	市民1人当りの経費(円)	153	市民1人当りの経費(円)	155	
	対象者1人当りの経費(円)	49	対象者1人当りの経費(円)	46	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市生涯学習推進委員会
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他
		幅広い世代へ対応できるよう講座、イベント等の企画を行う。また、他課(高齢者、青少年関係)で実施する講座やイベントとのコラボレーションについても検討していく。
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ソフト面において市民の学習活動が円滑に行われるよう、情報提供や講座開催などによる生涯学習施策の維持を図る。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	各種講座・イベント等の企画運営や生涯学習情報誌「鎌倉萌」の発行について、委託により市民協働で実施している。また、生涯学習センターフェスティバルの開催や大学等との連携により公開講座を実施し、生涯学習の推進に努めている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	
------------------------------	--

指標の内容	学習センター利用者数					単位	千人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
生涯学習の振興状況を図るため	目標値	580.0	585.0	590.0	595.0	600.0		600.0		
	実績値	627.0	560.0	535.0						
	達成率	108.1%	95.7%	90.7%						

指標の内容						単位	指標の傾向			備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	利用者数は例年500～600千人台で推移しているので、一時的な減少傾向と思われる。
--	--